

審査基準

1 第1次審査

ア審査委員審査項目

審査項目	審査内容	配点
業務への理解度	本業務の目的及び趣旨を的確に理解し、明確かつ具体的な提案となっているか。	50
実施体制	納期までに支障なく業務を遂行できる体制が組み立ており、突発的な要望にも柔軟かつ速やかに対応できるか。	
業務提案全般	仕様書を踏まえた提案であり、業務目的、条件、内容を理解した提案書となっているか。	
実現可能性	提案内容のスケジュールは適切で、実現可能なものとなっているか。	
企画提案力	企画提案書はわかりやすく、説得力がある内容となっているか。	
計		50
50点×5委員		250

イ事務局算定項目

算定項目	算定基準	配点
業務実績	本業務に関する業務実績	25
見積金額	配点×（全企画提案者中最低見積金額）／（当該企画提案者見積金額） ※企画提案者が1者の場合は3（配点の6割）とする。	25
計		50
1次審査 合計（満点）		300

2 第2次審査

ア審査委員審査項目

審査項目	審査内容	配点
プレゼンテーション	編集責任者の経験や専門的知見等が十分であるか。また、本業務について、内容を熟知し、説明が明瞭で論理的であるか。	100
構成	全体のコンセプトや構成は、本市の魅力が十分伝わり、来訪したくなる、滞在時間の増加が期待できるものとなっているか。	
デザイン性	写真やイラスト、キャッチコピー等の表現に関する工夫ができるか。	
独自性	思わず読んでみたくなる要素が盛り込まれているか。	
積極性	受託するにあたって、仕様書以上の提案がされているなど積極的な姿勢が示されているか。	
合計		100
100点×5委員		500

総合点（満点）	800
---------	-----

3 配点及び評価

ア 第1次審査 300点（50点×5委員＋事務局算定10点×5）

イ 第2次審査 500点（100点×5委員）

ウ 第1次審査及び第2次審査の合計800点で評価を行う。